

『親子のドアシル』センサモジュール

使い方ガイド

本書は製品の近くに置いてご活用ください。センサモジュールの基本的な使い方や、よくあるご質問の対処方法などを説明しています。

各部の名称 4

こんなことができます 6

設置方法 7

起動方法 11

連絡ボタン 16

見守り機能 18

ドアシルクラウド 25

設定方法 28



困ったときは 41

マニュアルの見方




お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本紙には弊社製品だけでなく、弊社製品を使用するために必要な全般に関する注意事項も記載されています。本紙および添付のマニュアル類に記載されている取扱方法、および禁止事項・注意事項に反した運用で生じた本製品および接続された機器の故障／トラブルは、一切保証対象に含まれません。

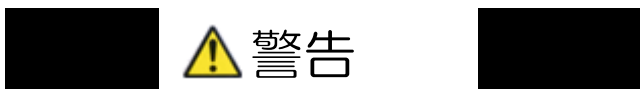
■使用している表示と絵記号の意味


警告表示の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	警告・注意を促す記号です。絵記号の近くに具体的な警告内容が描かれます。
	この表示は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。絵記号の近くに、具体的な禁止事項が描かれます。
	この表示は、しなければならない行為を示す記号です。絵記号の近くに、具体的な指示内容が描かれます。



-  **禁止** ACアダプターを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあります。
- 設置時に、ACアダプターを壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。
 - 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。

- 熱器具に近づけたり、過熱したりしないでください。
- ACアダプターを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- ACアダプターを接続したまま、機器を移動しないでください。万一、ACアダプターが傷んだら、弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店にご相談ください。



分解禁止

- 本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。**
- 火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のケースを取り外した場合、保証対象外となります。



電源プラグを抜く

- 煙が出たり変な臭いや音がしたら、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。**
- そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐにACコンセントからACアダプターを抜いてください。**
- そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店にご相談ください。



禁止

AC100V(50/60Hz)以外の AC コンセントにACアダプターを差し込まないでください。

- 火災・感電・故障の恐れがあります。



強制

AC アダプターは、AC コンセントに完全に差し込んでください。

- 差し込みが不完全のまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。



強制

AC アダプターは必ず本製品付属のものをお使いください。

- 本製品付属以外の AC アダプターをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。



電源プラグを抜く

液体や異物などが内部に入ったら、AC コンセントから AC アダプターを抜いてください。

- そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

電源製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

- けがをする危険があります。



水場での使用禁止

本製品は防水性ではありません。風呂場など、水分や湿気の多い場所では、使用しないでください。

- 火災・感電・故障の恐れがあります。



強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

- 体からの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。



禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因になったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界が発生するところ（故障の原因となります）
- 静電気が発生するところ（故障の原因となります）
- 震動が発生するところ（けが、故障、破損の原因となります）
- 平らでないところ（落下して、故障、破損、けがの原因となります）
- 直射日光が当たるところ（故障や誤動作、変形の原因となります）
- 火気の周辺、または熱気がこもるところ（故障や変形の原因となります）
- 漏電の危険があるところ（故障や感電の原因となります）
- 漏水の危険があるところ（故障や感電の原因となります）



強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。

- 条例の内容については、地方自治体にお問合せください。
- レンタル利用の場合は、弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店までご連絡ください。



注意



禁止

AC アダプターが AC コンセントに接続されているときは、濡れた手で本製品を触らないでください。

- 感電の原因となります。

各部の名称

主な操作部を説明します。

センサモジュール本体



①	見守り/解除ボタン (青色)	このボタンを押すことで見守り状態/外出状態が切り替わります。 無線接続を行う場合 WPS ボタンとして機能します。又、アラーム状態の解除ボタンとして機能します。
②	連絡ボタン (橙色)	このボタンを押すことで登録された連絡先にメールを送信します。
③	電源ランプ (緑色)	電源に接続すると点灯します。
④	見守り状態ランプ (黄色)	点灯：見守り状態 消灯：外出状態 点滅 (低速) : WPS 押下待ち状態 点滅 (瞬時* ¹) : WPS 接続処理中 点滅 (高速) : センサ反応状態
⑤	異常状態ランプ (橙色)	点灯：アラーム 消灯：異常無し 点滅 (低速) : システム異常

⑥	照度センサ	明るさの状態を検知するセンサです。
⑦	焦電センサ	人体の動きを検知するセンサです。
⑧	LAN コネクタ	LAN ケーブルを接続します。
⑨	無線 LAN 状態	無線 LAN が有効になると点灯します。
⑩	有線 LAN リンク状態	有線 LAN のリンクが確立すると点灯します（データ転送時点滅）。
⑪	USB コネクタ	アナログ電話回線 USB モデム(オプション)を接続します。
⑫	ドアセンサコネクタ	オプションのドアセンサを接続するコネクタです。
⑬	電源ケーブルコネクタ	添付の電源ケーブルを接続します。
⑭	温度検出用開口	外気温を検出するための開口です。塞がないようにしてください。

* 1 : 瞬時点滅 (0.1 秒点灯、0.9 秒消灯の繰り返し)

電源ケーブル

● USB AC 電源アダプタ

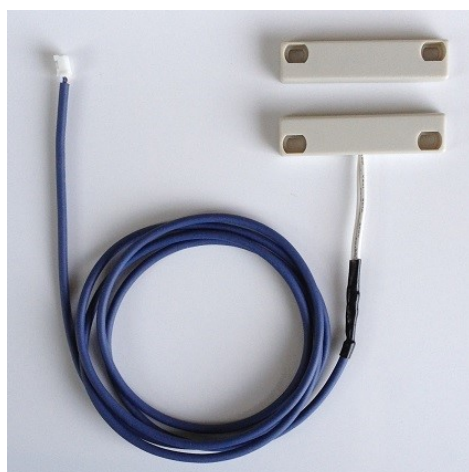


● 電源ケーブル



ドアセンサ (オプション)

マグネットスイッチを利用したドアの開閉センサです。ドアセンサはオプションになります。



こんなことができます

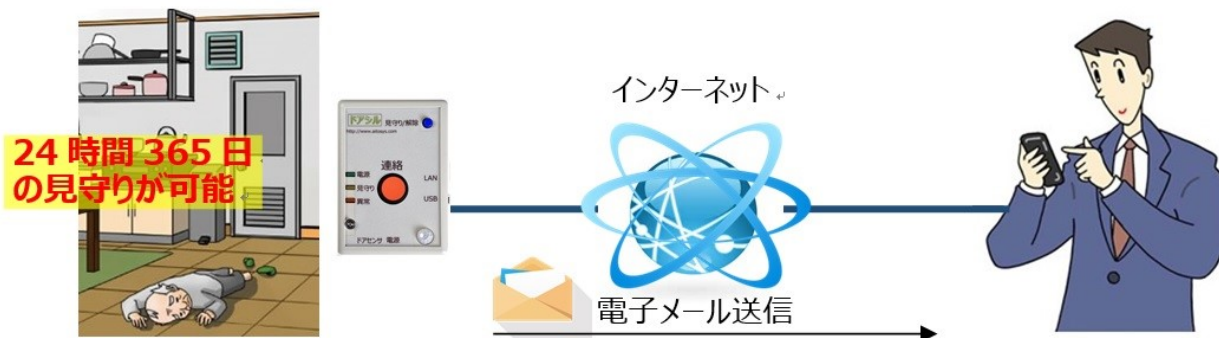
連絡ボタン機能

連絡ボタンを押すことで、あらかじめ設定された連絡先にメールを送信することができます。



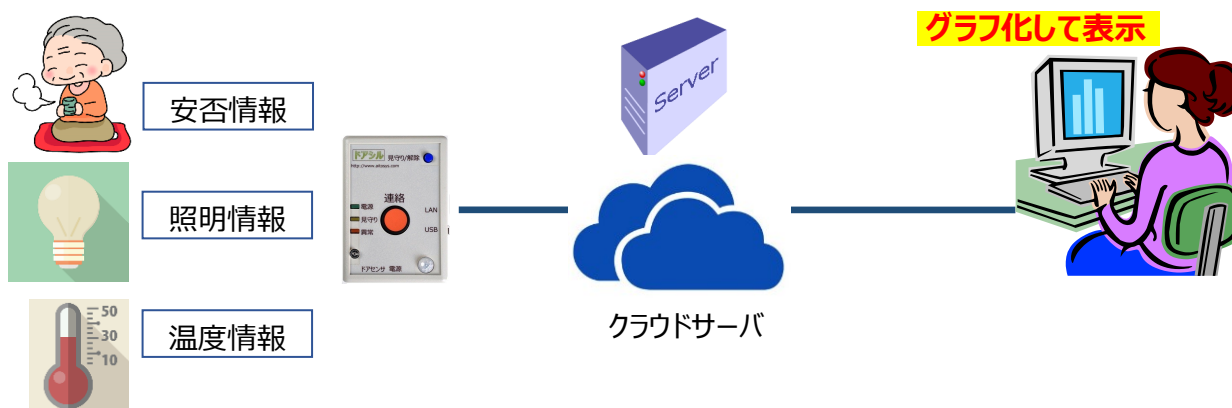
見守り機能

内蔵されたセンサを用いて異常検出時に登録された連絡先にメールを送信することができます。



見守りサーバ機能「ドアシルクラウド」(オプション)

クラウドサーバを用いて、見守りデータの管理やモニタがいつでもどこでも自由に行えます。



設置方法

センサモジュールの設置方法

センサモジュールは就寝時間を除いて、1日でも最も長い時間居住する部屋（リビング、ダイニング等）に設置します。

コンセントに直接接続する場合

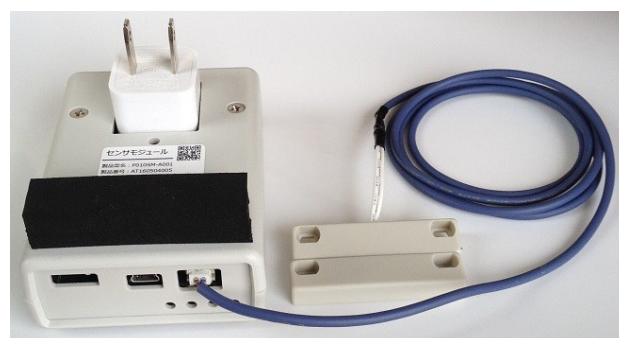
1. 付属のスペーサを両面テープでセンサモジュール本体に貼り付けます。



2. USB 電源アダプタをセンサモジュール本体の USB 電源アダプタコネクタに取り付けます。



3. ドアセンサ（オプション）を接続する場合は、ドアセンサをセンサモジュール本体のドアセンサコネクタに接続します。又マグネットセンサ部を『ドアセンサ設置方法』に従ってドアに設置します。



4. 『ネットワーク接続方法』に従ってネットワークを接続します。
5. コンセントに接続します。正しい方向で設置してください。正しい温度表示ができなくなります。



コンセントから USB 電源ケーブルで接続する場合

1. 付属の USB 電源ケーブルをセンサモジュール本体の電源ケーブルコネクタに接続します。



2. ドアセンサ（オプション）を接続する場合は、ドアセンサをセンサモジュール本体のドアセンサコネクタに接続します。又マグネットセンサ部を『ドアセンサ設置方法』に従ってドアに設置します。



3. センサモジュール本体を両面テープもしくはオプションの設置金具を使って貼り付け場所に固定します。正しい方向で設置してください。正しい温度表示ができなくなります。



4. 付属の USB 電源ケーブルをセンサモジュール本体の電源ケーブルコネクタに接続します。



4. 『ネットワーク接続方法』に従ってネットワークを接続します。

5. USB アダプタをコンセントに接続します。

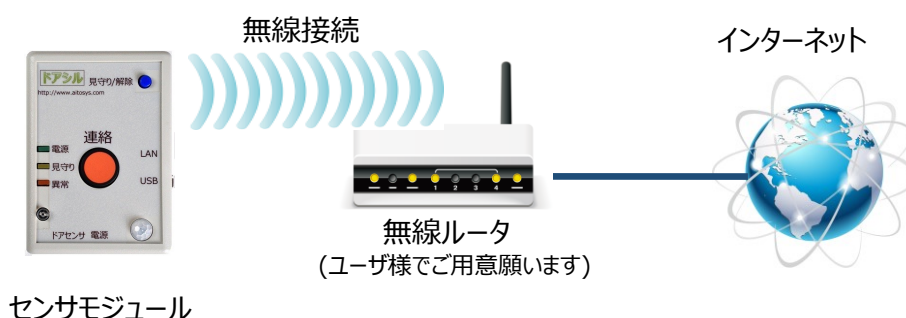


ネットワーク接続方法

センサモジュールは、無線 LAN、有線 LAN、モデム（オプション）のいずれか一つを用いてネットワークに接続できます。工場出荷前にあらかじめお客様の接続方法をお聞きし、電源 ON 時には所望のネットワーク接続で起動します。

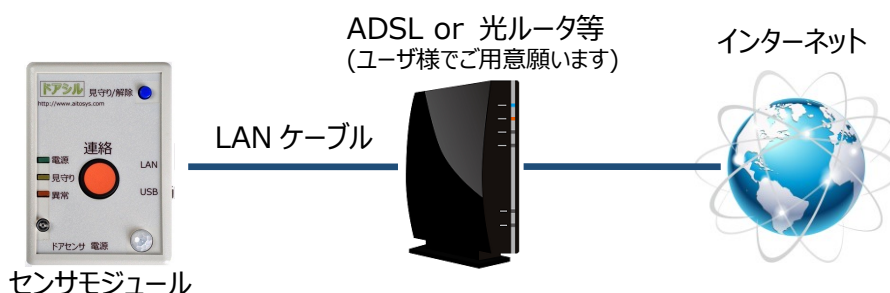
無線 LAN 接続時

自宅の無線ルータを用いて無線接続を行います。WPS を用いて ID の自動取得を行います。無線 LAN 対応の PC やスマートフォンからセンサモジュールの設定管理が可能です。



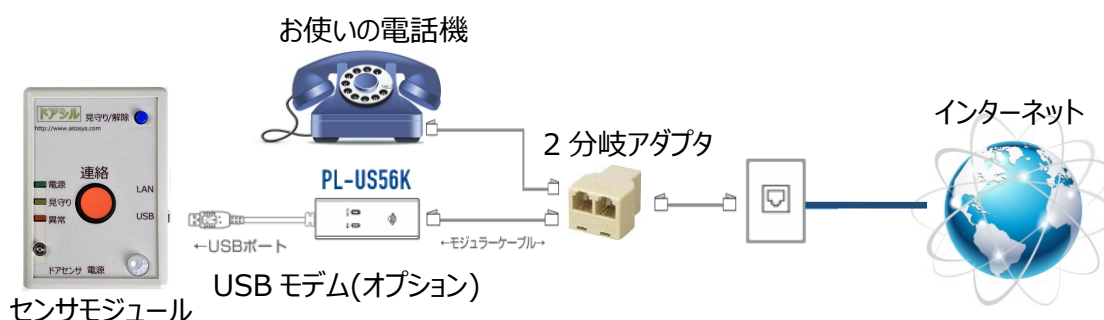
有線 LAN 接続時

自宅のルータにイーサネットケーブルを用いて接続します。DHCP を用いて IP の自動取得を行います。ルータに接続された PC からセンサモジュールの設定管理が可能です。



モデム（オプション）接続時

自宅の電話回線からモデムを用いて接続します。ご契約のプロバイダ又は無料のダイヤアッププロバイダが使用可能です（接続料金は別途必要です）。



ドアセンサ（オプション）設置方法

オプションのドアセンサを接続すると、ドアの開閉を検知することが可能となり、普段使用するトイレや冷蔵庫のドアの開閉が無くなったこと検知することで住人の見守りをすることができます。又玄関のドアに設置することにより、外出/帰宅を検知し、外出モード/見守りモードの自動検出をすることもできます。

センサモジュールとドアセンサ取り付け位置を考慮してドアセンサのケーブル長を選択して下さい。

1. ドアセンサを設置する場所を決めます。ドアの上部等目立たない場所を選びます。マグネットスイッチのマグネット部をドア側に、マグネットセンサ（ケーブルが接続されている）側をドア枠部に両面テープを用いて接着します。
3. ドアセンサのコネクタをセンサモジュール本体のドアセンサコネクタに接続します。コネクタ接続時はセンサモジュール本体の電源を切断した状態で接続してください。



2. ドアセンサからのケーブルを適所固定し、センサモジュール設置場所まで敷設します。



※ドアセンサのケーブル長は1 m～1 0 mまで1 m単位で用意可能です。

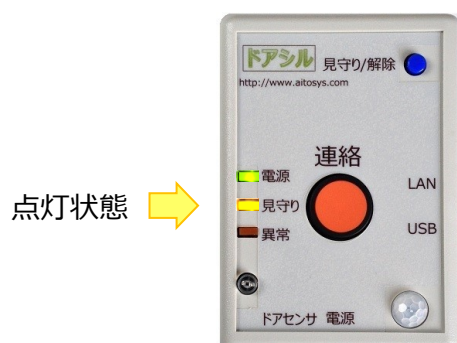
起動方法

センサモジュールは工場出荷前にあらかじめお客様の接続方法をお聞きし、電源 ON 時には所望のネットワーク接続で起動するため、特別な操作は不要です。以下は、お客様で設定変更する場合にご参照ください。

無線 LAN 接続時

SSID/KEY 登録済の場合

1. センサモジュールの電源を入れます。
(電源ランプが点灯します)
2. 約 1 分程度で見守り状態ランプ (黄色) が点灯状態になります。
3. 見守り状態が開始されます。焦電センサが反応すると見守り状態ランプ (黄色) 高速点滅します。

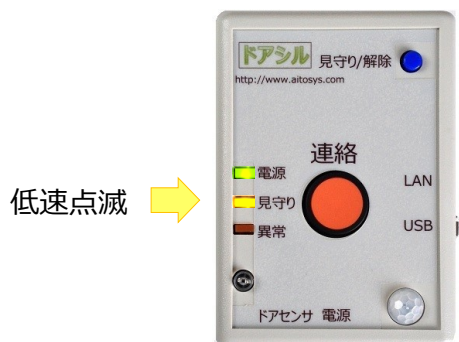


※無線 LAN でご使用の場合、出荷時にあらかじめお聞きした SSID/KEY が設定されています。

※SSID/KEY を変更する場合は、『設定方法』の WiFi 設定 [[34 ページ](#)] に従い変更して下さい。無線 LAN に接続できない場合は有線 LAN 接続を用いて接続してください。

SSID/KEY 未登録の場合 (WPS 接続)

1. センサモジュールの電源を入れます。
(電源ランプが点灯します)
2. 約 1 分程度で見守りランプ (黄色) が低速点滅 (0.5 秒点灯、0.5 秒消灯) します。



瞬時点滅 →



6. 10 秒～30 秒程で見守りランプ (黄色) が点灯状態になります。

点灯 →



3. 無線 LAN ルータの WPS ボタンを押します
(無線 LAN ルータの WPS 接続は無線 LAN ルータの説明書に従って下さい)。
4. センサモジュールの見守り/解除ボタンを押します。



7. 見守り状態が開始されます。焦電センサが反応すると見守り状態ランプ (黄色) 高速点滅します。

※センサモジュールの電源を OFF した場合、KEYID は保存されないため上記手順を再度実行下さい。

※WPS を使用せず、センサモジュールを起動する場合は、WPS 接続もしくは LAN 接続を用いて、センサモジュールに接続し、設定画面から SSID/KEY を設定 [34 ページ] 下さい。電源 ON 後、WPS ボタンを押さなくても起動するようになります。

LAN接続時

DHCP 接続の場合

1. センサモジュールの SSID/KEY が設定されていて、近くに対応する無線 LAN ルータがある場合、無線 LAN 接続が優先されます。有線 LAN でスタティック IP 接続する場合は、センサモジュールの SSID/KEY をリセットしておく必要があります（工場出荷状態で DHCP LAN 接続を選択している場合は、設定不要です）。
2. センサモジュールの電源を入れます。
（電源ランプが点灯します）
3. 約 1 分程度で、見守り状態ランプ（黄色）が点灯状態になります。



4. 見守り状態が開始されます。焦電センサが反応すると見守り状態ランプ（黄色）高速点滅します。

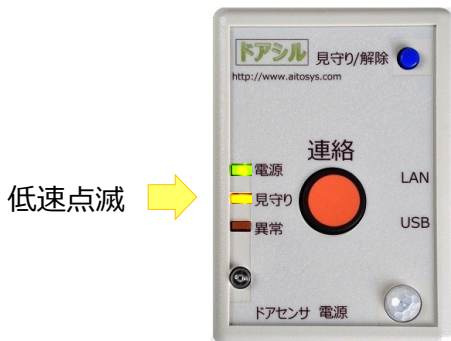
※ルータの設定で DHCP を有効にしておく必要があります。

スタティック IP 接続の場合

1. 有線 LAN でスタティック IP 接続する場合※は、センサモジュールの SSID/KEY をリセットし、WPS による無線接続を無効にして下さい。又 LAN の DHCP 接続を無効にして下さい。（工場出荷状態でスタティック IP 接続を選択している場合は、これらの設定は不要です）。

2. センサモジュールの電源を入れます。
（電源ランプが点灯します）

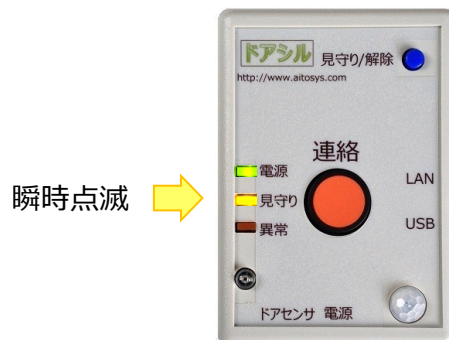
3. 約 1 分後、見守りランプ（黄色）が低速点滅（0.5 秒点灯、0.5 秒消灯）します



4. センサモジュールの見守り/解除ボタンを押します。



5. 見守りランプ（黄色）が瞬時点滅（0.1 秒点灯、0.9 秒消灯の繰り返し）します。



6. 10 秒～30 秒程で見守り状態ランプ（黄色）が点灯状態になります。



7. 設定されている IP アドレス（初期状態は 192.168.1.119）で起動し、見守り状態が開始されます。

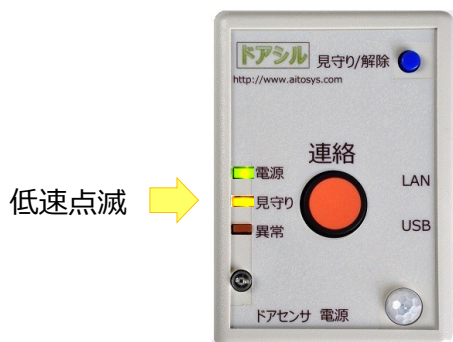
※WebUI の設定画面 [34 ページ] で、センサモジュールの『接続先ルータ SSID』、『接続先ルータ KEY』をリセットし、『 WPS を利用して SSID/Key を取得する』のチェックボックスをはずして、無線接続を無効にして下さい。又 LAN 設定の『 DHCP サーバを利用する』のチェックボックスをはずして下さい

※あらかじめお客様からお聞きした IP アドレスで起動します。デフォルト値は 192.168.1.119 です。

モデム接続時

USB モデム（オプション）を使用する場合

1. USB モデムで接続する場合は、WebUI の設定画面 [35 ページ] で、『モデムを用いてネットワークに接続する』のチェックボックスオンにして、モデム接続を有効にし、モデム関連の設定を行って下さい（工場出荷状態でモデム接続を選択している場合は、これらの設定は不要です）。
2. センサモジュールの電源を入れます。（電源ランプが点灯します）
※電源を入れる前に USB モデムを接続して下さい。電源を投入後の USB 接続（プラグ&プレイ）には対応していません。
3. 約 1 分後、見守りランプ（黄色）が低速点滅（0.5 秒点灯、0.5 秒消灯）開始します



4. 約 30 秒そのまま待ちます。

5. モデムの OH LED（黄色）が点灯しデータの送受信が行われます。



※装置内の時計合わせと起動通知メール送信のためネットワークに接続します。

6. モデムの OH LED（黄色）が点灯し、見守りランプ（黄色）が点灯状態になります。



7. 見守り状態が開始されます。焦電センサが反応すると見守り状態ランプ（黄色）高速点滅します。

起動通知

DHCP でネットワーク接続を行った場合、センサモジュールが取得した IP アドレスを知るためには、ルータにアクセスして払い出し IP アドレスを調べる必要があります。このため、センサモジュールは電源 ON 時、登録されたメールアドレスに取得した IP アドレスを通知する機能を持っています。起動通知を受け取るために、sensormodule@aitosys.com からのメールをブロックしないようにして下さい。

送信先のメールアドレスの変更は『設定方法』装置管理（装置管理者メールアドレス登録） [40 ページ] を参照下さい。

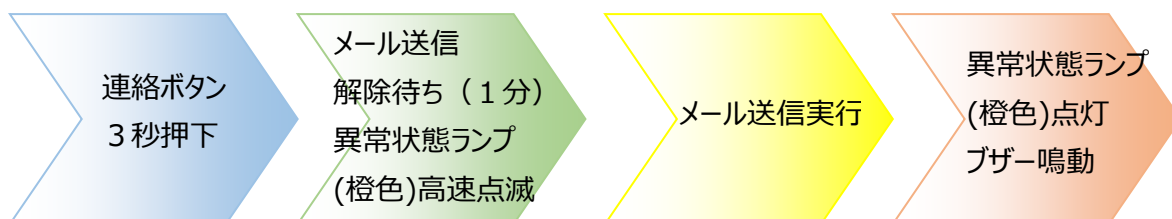
連絡ボタン

連絡ボタン機能

連絡ボタンを押すことで、あらかじめ設定された連絡先にメールを送信することができます。



間違ってメール送信を行わないようにメール送信実行まで以下の処理を行います。



※メール送信解除待ちの間に見守り/解除ボタンを押下すると、連絡機能（メール送信）を中止します。

連絡ボタン押下によるメール送信

連絡先（メール送信先）の登録

連絡ボタン押下時のメール送信先アドレスは最大 8 アドレスまで登録可能です。

⇒ 『設定方法』 メール設定（送信メールアドレス） [[37 ページ](#)] を参照下さい

メール再送間隔と再送回数

連絡ボタン押下時のメール送信で解除動作がされない場合、メール送信の再送を行います（解除条件は次項メール再送解除条件を参照下さい）。メールの再送間隔と再送回数を設定できます。

メール再送間隔：5分 / 10分 / 30分 / 1時間 / 4時間 / 8時間 / 12時間 / 24時間

メール再送回数：再送無し / 1～8回 / 制限無し

⇒ 『設定方法』システム設定（連絡ボタン設定） [\[29 ページ\]](#) を参照下さい

メール送信解除条件

連絡ボタン押下時の解除条件を選択可能です。連絡ボタン押下時の解除条件は以下の4条件が設定可能です。

- (1)見守りボタン押下
- (2)連絡ボタン押下
- (3)緊急メール送信完了
- (4)WebUIによる緊急ボタンアラーム解除

⇒ 『設定方法』システム設定（連絡ボタン設定） [\[30 ページ\]](#) を参照下さい

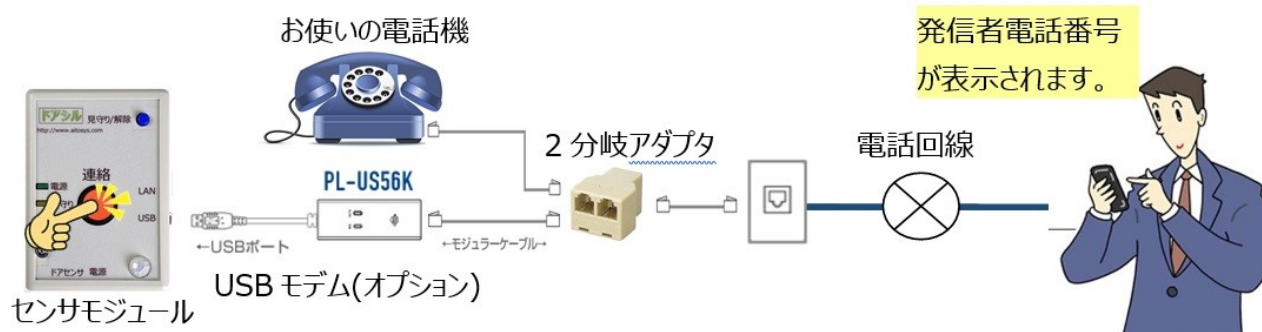
メール送信に替わる電話呼び出し

メールを送信する代わりに電話呼び出しを行うことも可能です。

センサモジュールを取り付けた電話回線の発信者通知を有効にしておきます。連絡ボタンが押されると、登録された連絡先に電話呼び出しを行います。電話を受けた側は番号通知を見て判断し、電話にでなければ通信費用はまったくかかりません（但し、電源 ON 時のネットワーク接続時に通信費用が発生します）。

※呼び出した電話に対して音声は流れません（無言電話となります）。

⇒ 『設定方法』メール設定（メール送信に替わる電話呼び出し） [\[38 ページ\]](#) を参照下さい

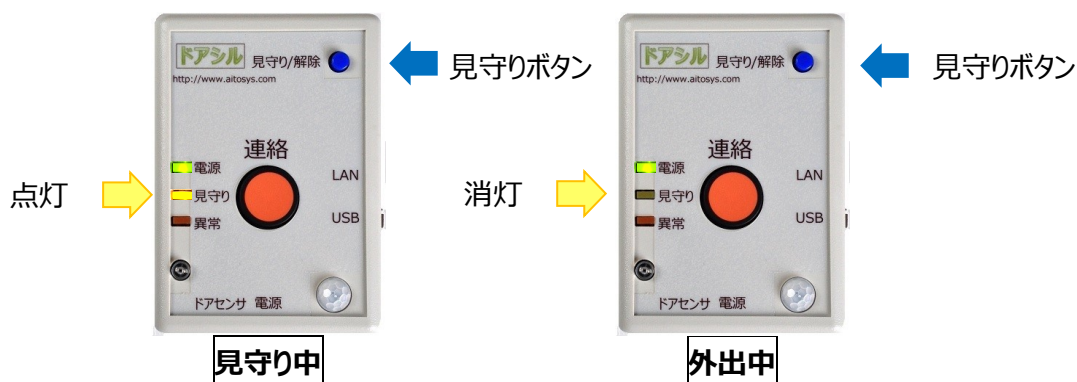


見守り機能

焦電センサ、ドアセンサ（オプション）、照明センサ、温度センサの各種センサにより、住人の見守りを行います。

見守りモードと外出モード

外出時はセンサモジュールのセンサに反応しないため、見守り状態を解除する必要があります。見守り状態を解除/設定するには、見守りボタンを押下します。見守りボタンの押下で見守り状態/外出状態が反転します。外出モード中は全てのセンサ（焦電センサ、ドアセンサ（オプション）、照明センサ、温度センサ）による見守りが保留状態となります。見守り状態の時は、見守り状態ランプが点灯し、外出モードでは見守り状態ランプが消灯します。



見守りモード/外出モードの切り替えは設定画面からでも変更可能です。

⇒ 『設定方法』システム設定（外出モード切り替え及びアラーム状態） [[29 ページ](#)] を参照下さい

オプションのドアセンサを玄関のドアに設置することで見守りモードと外出モードを自動的に切り替えることができます（この場合ドアセンサによる見守り動作はできなくなります）。

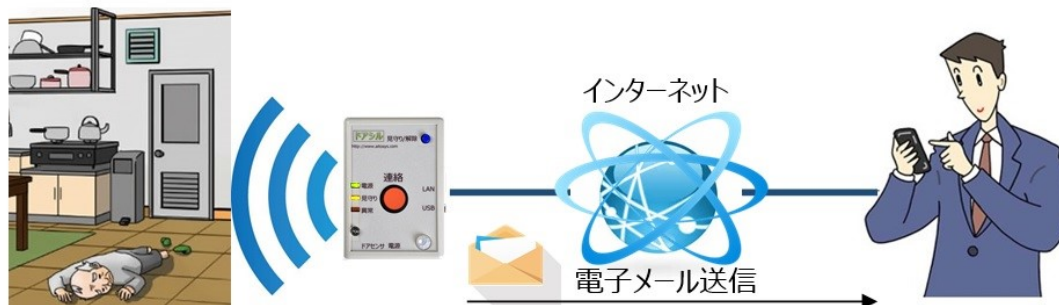


⇒ 『設定方法』システム設定（見守り設定） [[30 ページ](#)] を参照下さい

焦電センサによる見守り

機能概要

センサモジュールに搭載された焦電センサは赤外線による温度変化を捉えることで、高精度で人の動きを検出します。一定時間焦電センサの反応がなかった場合、住人の異常と判断します。



見守り異常検出時間

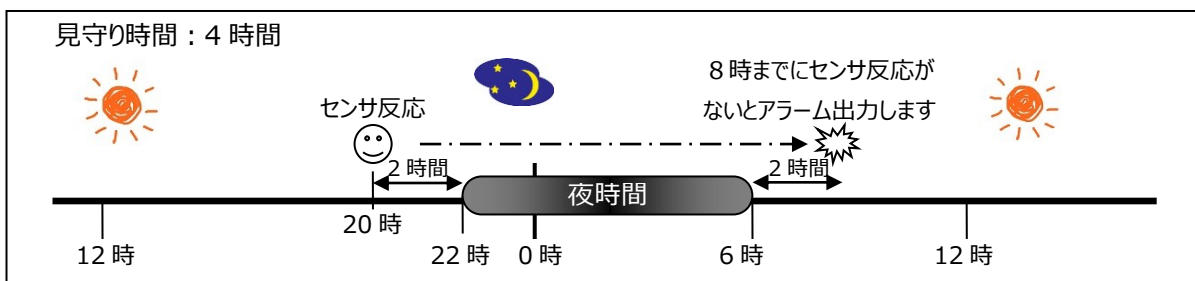
見守り異常検出時間（見守り異常と判断する時間）は変更することができます。見守り異常検出時間を短くすると、誤検出によるメール送信が多くなります。又、見守り異常検出時間を長くすると、異常が発生した際、発見までの時間が長くなります。通常 8 時間程度で設定することをお勧めします。

⇒ 『設定方法』システム設定（見守り設定） [\[30 ページ\]](#) を参照下さい

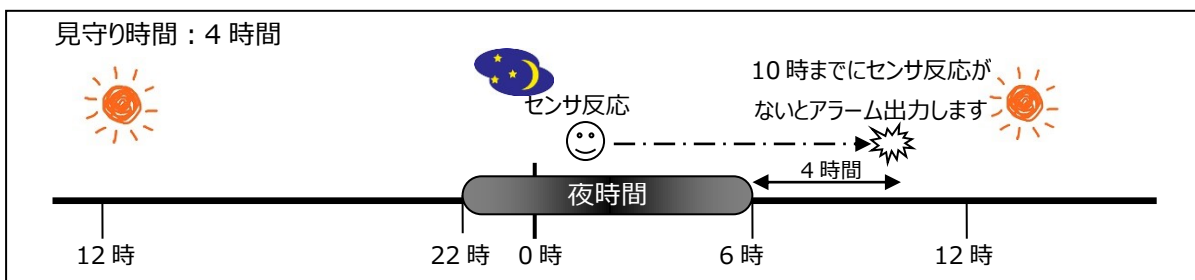
夜時間設定

就寝中はセンサモジュール設置場所によっては、焦電センサに反応しない場合があるため、見守り異常検出を止める必要があります。夜時間を設定することで、就寝中の見守り異常検出を一時停止することが可能です。

●夜時間中にセンサ反応がなかった場合



●夜時間中にセンサ反応があった場合



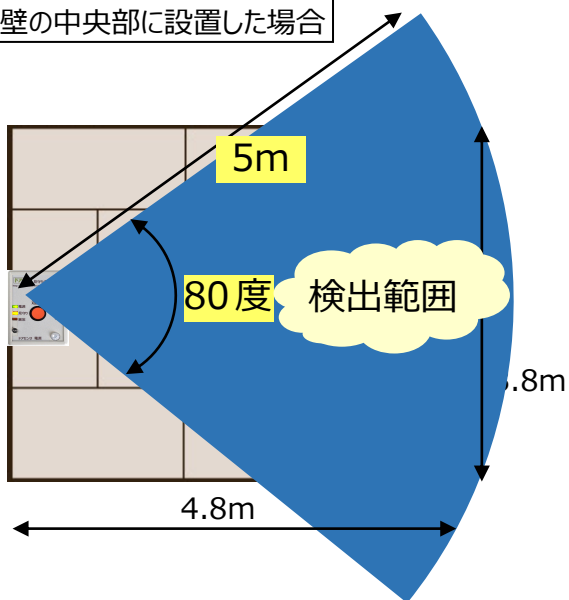
⇒ 『設定方法』システム設定（見守り機能） [\[30 ページ\]](#) を参照下さい

検出範囲

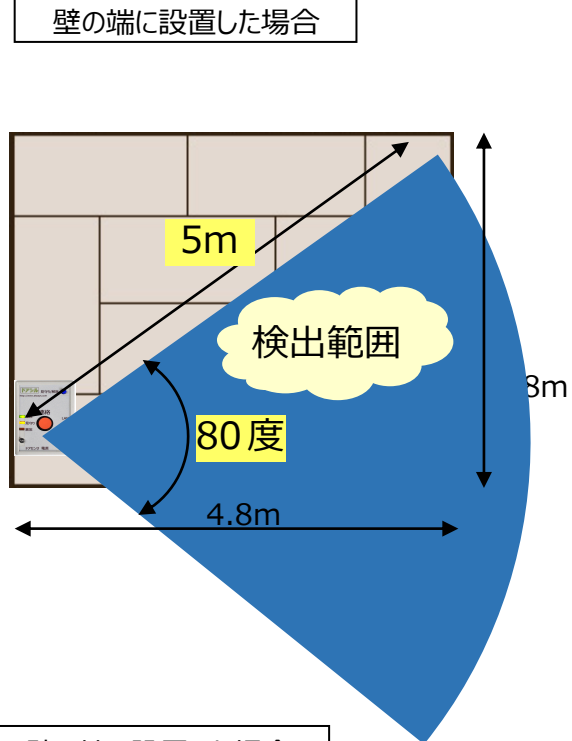
焦電センサの検出範囲は、検出角度が80度、検出距離は5mです。人の動作が検出範囲内に入るように設置します。部屋の角部に設置すると検出範囲が狭くなります。できるだけ部屋壁の中央部に設置するようにして下さい。

● 10畳部屋での設置例

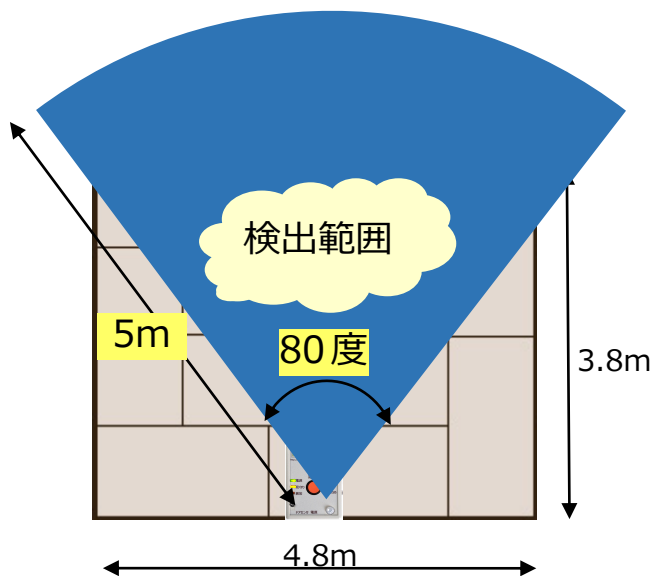
壁の中央部に設置した場合



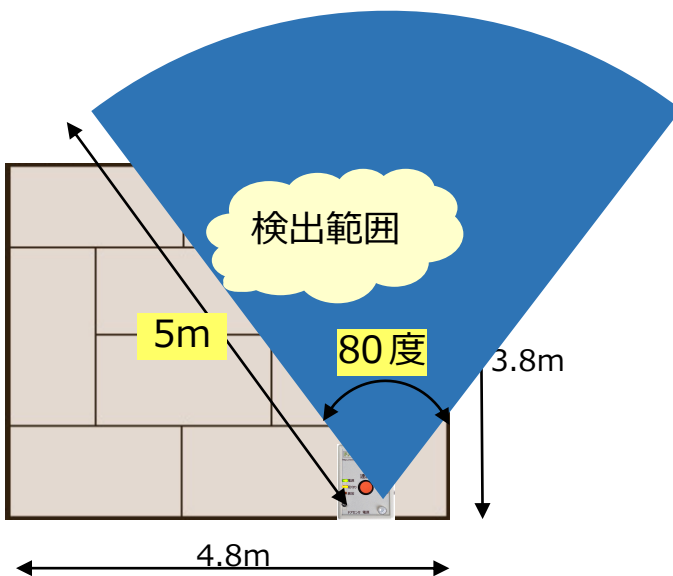
壁の端に設置した場合



壁の中央部に設置した場合



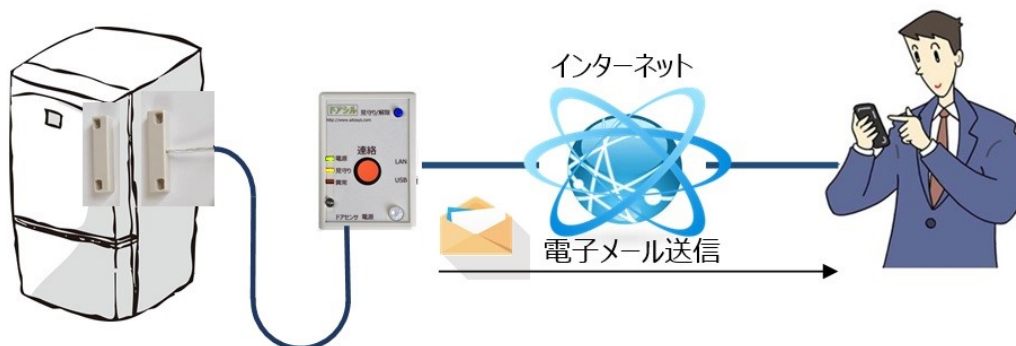
壁の端に設置した場合



ドアセンサ（オプション）による見守り

機能概要

ドアセンサ（オプション）はマグネットスイッチよりドアの開閉を検出します。一日に複数回使用するドア（トイレのドアや冷蔵庫のドア等）に対して設置することで住人の見守りを行います。



見守り異常検出時間

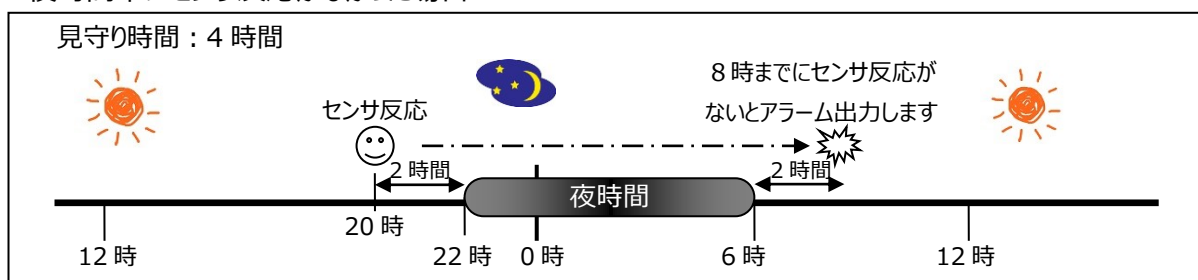
見守り異常検出時間（見守り異常と判断する時間）は変更することができます。見守り異常検出時間を短くすると、誤検出によるメール送信が多くなります。又、見守り異常検出時間を長くすると、異常が発生した際、発見までの時間が長くなります。通常8時間程度で設定することをお勧めします。

⇒ 『設定方法』システム設定（見守り設定） [\[31 ページ\]](#) を参照下さい

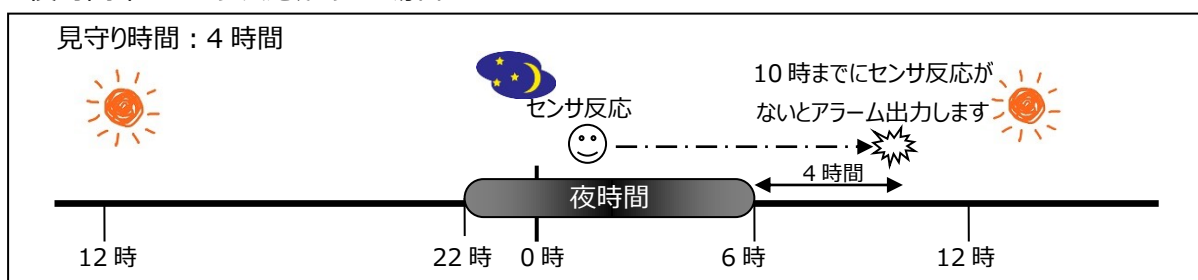
夜時間設定

就寝中はドアセンサ（オプション）に反応しない場合があるため、見守り異常検出を止める必要があります。夜時間を設定することで、就寝中の見守り異常検出を一時停止することが可能です。

●夜時間中にセンサ反応がなかった場合



●夜時間中にセンサ反応があった場合



⇒ 『設定方法』システム設定（見守り機能） [\[31 ページ\]](#) を参照下さい

見守り/外出モード切替え

ドアセンサ（オプション）を玄関のドアに設置することで見守りモードと外出モードを自動的に切り替えることができます（この場合ドアセンサによる見守り動作はできなくなります）

⇒ 『設定方法』システム設定（見守り設定） [\[31ページ\]](#) を参照下さい

照明センサによる見守り

機能概要

照度センサにより、居室内の照明の点灯状態を監視します。深夜の照明が消された状態であるはずの部屋の照明が点灯している場合、異常とみなして異常メールを送信します。



見守り時刻と継続時間

照度センサによる、居室内の照明の点灯を見守りする時刻と継続時間を設定します。見守り時刻は、就寝している時間帯の時刻を設定します（深夜 2～3 時を推奨）。トイレ等で照明を点灯する可能性があるため、継続時間を過ぎた場合のみ異常とみなします。

見守り時刻 : 0～2 3 時
継続時間 : 1～4 時間

⇒ 『設定方法』システム設定（見守り設定） [\[31ページ\]](#) を参照下さい

照明点灯照度閾値

照度センサで、居室内の照明の点灯状態と判断する照度を設定します。1（暗い）～10（明るい）の10段階で設定します。

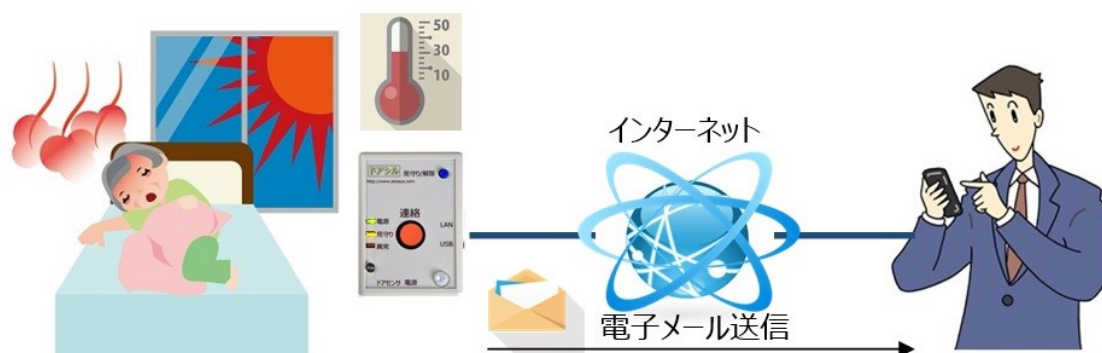
照明点灯閾値 : 1（暗い）～10（明るい）

⇒ 『設定方法』システム設定（見守り設定） [\[31ページ\]](#) を参照下さい

温度センサによる見守り

機能概要

温度センサにより、居室内の気温をモニタします。居室内の気温が設定値より高くなると見守り異常メールを送信します。



※測定温度は設置環境により誤差があります。風の影響を受ける為、センサモジュールは無風状態となる場所に設置して下さい。

検出温度閾値

温度センサによる、温度異常アラームを検出する温度を設定します。

検出温度閾値 : 25°C～40°C

⇒ 『設定方法』システム設定（見守り設定） [\[31 ページ\]](#) を参照下さい

再アラーム発出保護時間

温度は、ゆっくりと変化するため、検出温度閾値を超えて温度異常アラームを検知した後、ほんの少し温度が下がり又すぐに検出温度閾値を超えて温度異常アラームを検出することが起こります。この為、一度温度異常アラームを検出すると、保護時間を設けて次の温度異常アラームを検出するようにしています。

再アラーム保護時間 : 1時間～24時間

⇒ 『設定方法』システム設定（見守り設定） [\[31 ページ\]](#) を参照下さい

見守り異常によるメール送信

連絡先（メール送信先）の登録

見守り異常時のメール送信先アドレスは最大 8 アドレスまで登録可能です。

⇒ 『設定方法』メール設定（送信メールアドレス） [[37 ページ](#)] を参照下さい

メール再送間隔と再送回数

見守り異常時のメール送信で解除動作がされない場合、メール送信の再送を行います（解除条件は次項メール再送解除条件を参照下さい）。メールの再送間隔と再送回数を設定できます。

メール再送間隔：5 分 / 10 分 / 30 分 / 1 時間 / 4 時間 / 8 時間 / 12 時間 / 24 時間

メール再送回数：再送無し / 1 ～ 8 回 / 制限無し

⇒ 『設定方法』システム設定（見守り設定） [[32 ページ](#)] を参照下さい

メール送信解除条件

見守り異常時の解除条件を選択可能です。見守り異常時の解除条件は以下の 3 条件が設定可能です。

- (1) 見守りボタン押下
- (2) 見守り異常メール送信完了
- (3) WebUI による見守りアラーム解除

⇒ 『設定方法』システム設定（見守り設定） [[32 ページ](#)] を参照下さい

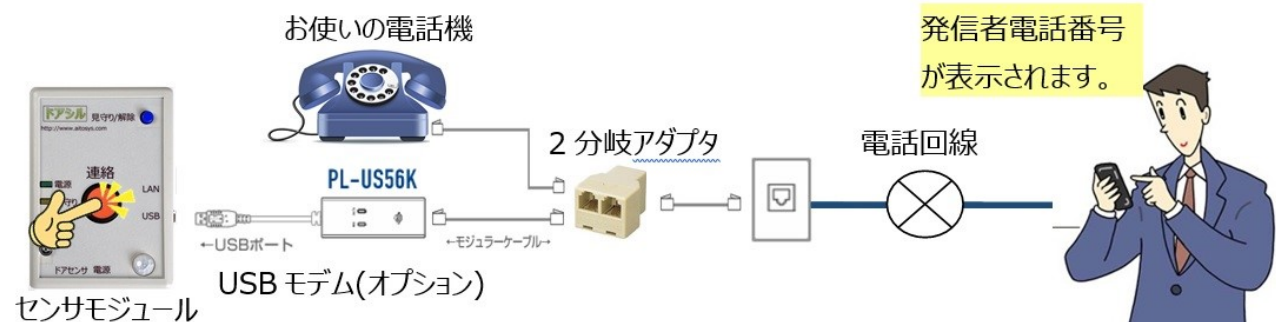
メール送信に替わる電話呼び出し

メールを送信する代わりに電話呼び出しを行うことも可能です。

センサモジュールを取り付けた電話回線の発信者通知を有効にしておきます。連絡ボタンが押されると、登録された連絡先に電話呼び出しを行います。電話を受けた側は番号通知を見て判断し、電話にでなければ通信費用はまったくかかりません（但し、電源 ON 時のネットワーク接続時に通信費用が発生します）。

※呼び出した電話に対して音声は流れません（無言電話となります）。

⇒ 『設定方法』システム設定（連絡ボタン設定） [[38 ページ](#)] を参照下さい

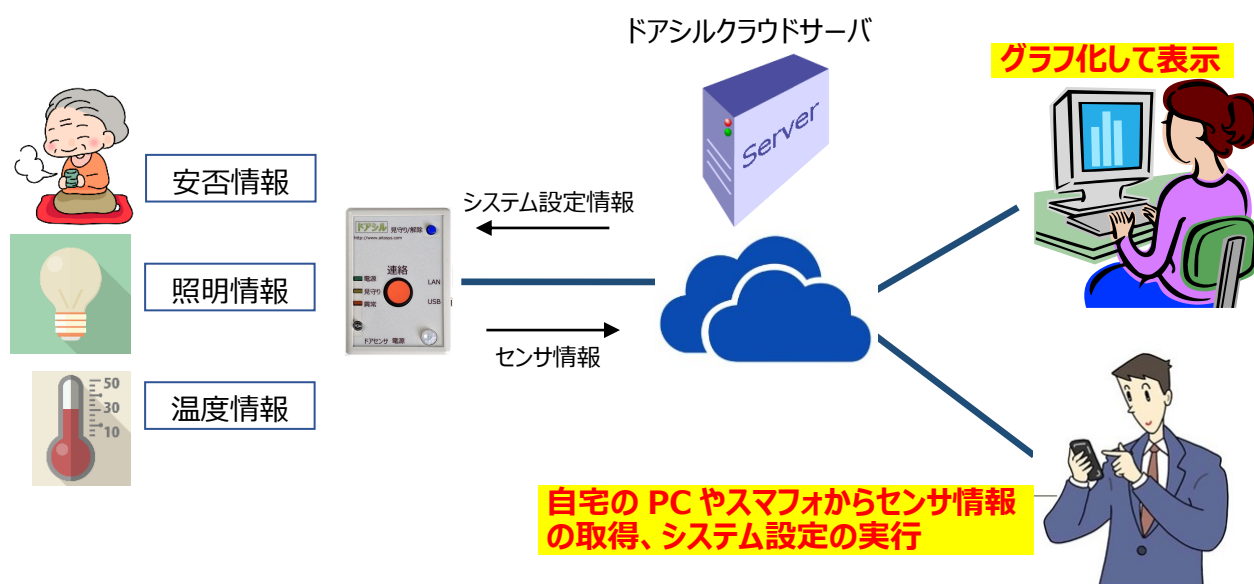


ドアシルクラウド

センサモジュールを、クラウドサーバを使って管理することにより、どこからでもセンサモジュールの設定変更や、センサの情報をモニタすることが可能になります。

ドアシルクラウドサーバ

アイトシステムが管理するクラウドサーバ（ドアシルクラウドサーバ）にセンサモジュールが定期的にデータを送信することで、PC やスマホを用いて、センサモジュールの情報をモニタすることができます。



センサ情報のモニタ

連絡ボタン状態、外出状態、人感（焦電）センサ、ドアセンサ、温度センサ、照度センサの状態をモニタすることが可能です。各情報は、最新情報、及び日単位、月単位、年単位の統計情報を見ることができます。これにより、お客様の環境に応じた適切なアラーム判定閾値を判断することができます。

※センサモジュールの更新頻度により、最新情報はタイムラグが生じる場合があります。

システム設定情報の変更

センサモジュールに直接接続しなくても、クラウドサーバからセンサモジュールのシステム設定情報が変更できます。離れた場所に設置されたセンサモジュールの管理が簡単になります。センサモジュールは定期的なセンサデータ送信時に、クラウドで設定されたシステム情報を取り込みます。

※モデム接続の場合は、定期データの更新は 1 日 1 回となります。クラウド画面は 1 日前のデータとなります。但し、異常通報（連絡ボタン、見守り異常）は即時で発出されます。

クラウドインターフェース画面

パソコンもしくはスマートフォンの Web ブラウザでドアシルクラウドにアクセスできます（URL アドレスは別紙添付資料を参照下さい）。ユーザ ID とパスワードを入力するとホーム画面が表示されます。スマートフォンでも見やすいレスポンシブルデザインを採用しています。

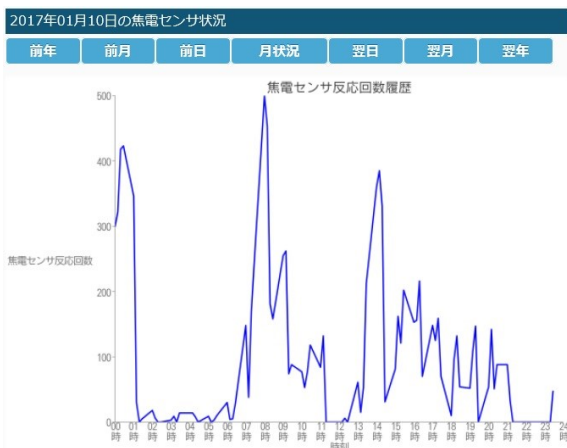


パソコン画面



スマホ画面

連絡ボタン、見守り状態、人感センサ、ドアセンサ、温度センサ、照度センサの各アイコンをクリックすると状況がグラフ表示されます。（以下は焦電センサ、温度センサの状況例）



人感センサ状況画面



温度センサ状況画面

クラウドインターフェースメニュー

システム設定

センサモジュールの連絡ボタン機能と見守り関連の設定を行うことができます。クラウドで設定した内容は、センサモジュールからのデータ送信タイミングで反映されます。設定ボタンをクリックすると、ボタンの色が黄色に変わり、更新待ちであることを示します。

設定内容に関しては、『設定方法』システム設定 [29 ページ] を参照下さい。

メール設定

メールの送信先を指定します。送信アドレスは 8 件まで登録可能です。

設定内容に関しては、『設定方法』メール設定（送信メールアドレス） [37 ページ] を参照下さい。

端末状態

センサモジュール端末のシステム情報と統計情報を表示します。

ユーザ設定

端末情報

端末情報	
有効/無効	有効
MACアドレス(00-FF(大文字))	3C3300A00760
端末設置場所	トイレ
<input type="button" value="端末情報変更"/>	

有効/無効

クラウドデータの有効/無効状態を示します。データ設定でエラーが発生した場合に無効となる場合があります。

MAC アドレス

センサモジュールの MAC アドレスを表示します。

端末設置場所

センサモジュールの設置場所を登録します。複数のセンサモジュールを設置した場合、区別がしやすくなります。

ログイン ID

ログインID	
ユーザID(半角英数字8文字以上)	<input type="text" value="yasuo001"/>
パスワード(半角英数字8文字以上)	<input type="text" value="yasuo001"/>
<input type="button" value="ログインID変更確認"/>	

ユーザ ID : 半角英数字 8 文字以上のユーザ ID を設定します。入力した ID が既に使われている場合再入力となります。

パスワード : 半角英数字 8 文字以上のパスワードを設定します。

アクセス情報

アクセス情報	
登録日	2016年12月21日17時31分37秒
最終更新日	2016年12月21日17時31分37秒
最終読出日	2017年01月11日21時58分58秒

登録日 : 登録日時を表示します。

最終更新日 : データ最終変更日時を表示します。

最終読出日 : 最終ログイン日時を表示します。

ユーザ登録情報

ユーザ登録情報	
登録者氏名	<input type="text" value="安尾明弘"/>
メールアドレス	<input type="text" value="yasuo@aitosys.com"/>
郵便番号(半角数字)	<input type="text" value="221"/> - <input type="text" value="0802"/>
住所	<input type="text" value="神奈川県"/> <input type="text" value="横浜市神奈川区"/> <input type="text" value="六角橋"/>
電話番号(半角数字)	<input type="text" value="045"/> - <input type="text" value="717"/> - <input type="text" value="9200"/>
<input type="button" value="登録情報変更"/>	

ユーザ登録情報を設定します。

設定方法

ローカルルータに接続された PC やスマホの Web ブラウザを用いてセンサモジュールの設定・モニタが可能です。センサモジュールの IP アドレスに Web ブラウザを用いてアクセスします。センサモジュールの IP アドレスは起動通知メール (sensormodule@aitosys.com からのメール) を参照下さい。

システム管理ホームページ

(1) PC やスマホの Web ブラウザに `http://` (センサモジュールの IP アドレス) を入力します。



(2) アカウンド名 : user
パスワード : passwd
を入力します。

(3) ログイン完了画面が表示されるので画面の[ここ](#)をクリックして下さい。



※Windows10 Microsoft Edge ブラウザではメールアドレスが正常に保存されません。Windows10 では、IE を使用下さい。

(4) システム管理ホームページが表示されます。



画面左部の

- システム設定
- ネットワーク
- メール設定
- 装置管理
- ステータス

をクリックして各画面を表示します。

システム設定

連絡ボタン機能と見守り関連の設定を行います。

外出モード切り替え及びアラーム状態

外出モード切り替え及びアラーム状態	
外出モードから見守りモードへ切り替えを行います。 ①	見守りモード切り替え
緊急ボタンアラームはありません。 ②	アラーム解除
見守りアラームはありません。 ③	アラーム解除

①外出モード/見守りモード切り替え

外出モードと見守りモード切り替えを行います。

● 外出モード時：

表示：外出モードから見守りモードへ切り替えを行います

ボタン： 見守りモード切り替え

● 見守りモード時：

表示：見守りモードから外出モードへ切り替えを行います

ボタン： 外出モード切り替え

②緊急ボタンアラーム解除

緊急ボタンアラームが出力されている場合、ボタンをクリックすることでアラーム解除ができます。

● 緊急ボタン押下時

表示：緊急ボタンが押されました

ボタン： 緊急ボタン押下解除

③見守りアラーム解除

見守りアラームが出力されている場合、ボタンをクリックすることでアラーム解除ができます。

● 見守りアラーム出力時

表示：見守りアラームを検出しています

ボタン： アラーム解除

連絡ボタン設定

設定を変更した場合は必ず **連絡ボタン設定** ボタンをクリックして下さい。

連絡ボタン設定

連絡ボタン有効/無効

連絡ボタンを有効にする

連絡送信保護時間（ボタンが押されてからメール送信するまでの時間）： 10秒 ▼

連絡メール再送方法

連絡メール再送間隔： 10分 ▼ 連絡メール再送回数： 2回 ▼

連絡メール解除条件

見守り/解除ボタン押下 連絡ボタン押下 連絡メール送信(再送含む)完了

連絡ボタン設定

連絡ボタン有効/無効

連絡ボタンを有効にする

チェックを入れることで連絡ボタン機能が有効になります。

連絡送信保護時間

（ボタンが押されてからメール送信するまでの時間）：

間違えて連絡ボタンを押してしまって、メール送信を行わないようにするためメール送信実行までの保護時間を設定します。メール送信解除待ちの間に見守り/解除ボタンを押下すると、連絡機能（メール送信）を中止します

0 秒（保護時間なし） / 10 秒 / 30 秒 / 60 秒 / 3 分 / 1 分から設定できます。

連絡メール再送方法

連絡ボタンが押された時に送信される連絡メールの再送間隔と再送回数を設定します。後述の連絡メール解除条件で設定される条件を満たした場合、メールの再送が停止します。再送を行わない場合は、再送回数に『再送無し』を設定します。

連絡メール再送間隔

5 分 / 10 分 / 30 秒 / 1 時間 / 4 時間 / 8 時間 / 12 時間 / 24 時間から設定できます。

連絡メール再送回数

再送無し / 1回 / 2回 / 3回 / 4回 / 5回 / 6回 / 7回 / 8回 / 制限無し から設定できます。

『再送無し』を選択するとメールの再送をしません。
『制限無し』設定すると連絡メール解除条件で設定された解除（連絡メール再送完了を除く）までメールの再送を続けます。

連絡メール解除条件

連絡ボタンが押された連絡ボタン押下アラーム状態を解除する条件を設定します。

見守り/解除ボタン押下

チェックを入れることで、見守り/解除ボタンを押すと、連絡ボタン押下アラーム状態を解除します。

連絡ボタン押下

チェックを入れることで、連絡ボタンを押すと、連絡ボタン押下アラーム状態を解除します。

連絡メール送信（再送含む）完了

チェックを入れることで、再送を含む連絡メールの送信完了をもって連絡ボタン押下アラーム状態を解除します。

見守り設定

設定を変更した場合は必ず **見守り設定** ボタンをクリックして下さい。



見守りセンサー選択

焦電センサー

チェックを入れることで焦電センサーによる見守り機能を有効にします。

ドアセンサー

チェックを入れることでドアセンサーによる見守り機能を有効にします。

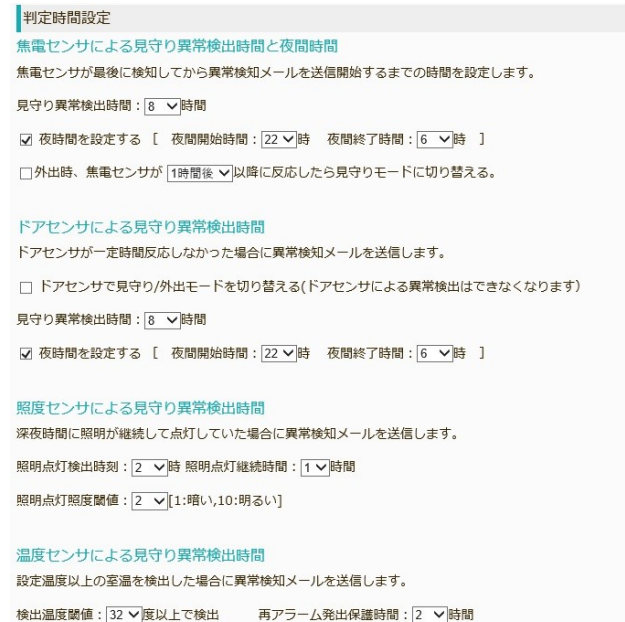
照度センサー

チェックを入れることで照度センサーによる照明監視を有効にします。

温度センサー

チェックを入れることで温度センサーによる室温監視を有効にします。

判定時間設定



焦電センサーによる見守り異常検出時間と夜間時間

焦電センサーが最後に検知してから異常検知メールを送信開始するまでの時間を設定します。見守りセンサー選択で焦電センサーを有効にした場合に機能が有効になります。

見守り異常検出時間

1 時間～24 時間の間で 1 時間単位に設定できます。

夜時間を設定する

チェックを入れることで就寝中の焦電センサーによる見守り機能を一時停止します。

夜間開始時間と夜間終了時間

就寝中の焦電センサーによる見守り機能を一時停止する時間帯を設定します。

夜間開始時間：0 時～23 時

夜間終了時間：0 時～23 時

外出時、焦電センサが--時間以降に反応したら見守りモードに切り替える

外出モードの状態を設定時間以降に焦電センサが反応した場合、自動的に見守りモードに切り替えます。外出中から帰宅した場合に、見守りボタンの押し忘れを補助します。設定時間最大値は見守り異常検出時間によって変わります。見守り異常検出時間を保存してから設定して下さい。

ドアセンサによる見守り異常検出時間

ドアセンサが最後に検知してから異常検知メールを送信開始するまでの時間を設定します。見守りセンサ選択でドアセンサを有効にした場合に機能が有効になります。

ドアセンサは追加オプションです。

ドアセンサで見守り/外出モードを切り替える

ドアセンサを玄関のドアに設置することで見守りモードと外出モードを自動的に切り替えることができます。この機能を使用することで外出/帰宅時に見守り/解除ボタンを押さなくても自動的に見守りモードと外出モードが切り替わります。(この場合ドアセンサによる見守り動作はできなくなります)

見守り異常検出時間：

1 時間～24 時間の間で 1 時間単位に設定できます。

夜時間を設定する

チェックを入れることで就寝中のドアセンサによる見守り機能を一時停止します。

夜間開始時間と夜間終了時間

就寝中のドアセンサによる見守り機能を一時停止する時間帯を設定します。

夜間開始時間：0 時～23 時

夜間終了時間：0 時～23 時



照度センサによる見守り異常検出時間

深夜時間に照明が継続して点灯していた場合に異常検知メールを送信します。見守りセンサ選択で照度センサを有効にした場合に機能が有効になります。

照明点灯検出時刻：

1 時間～24 時間の間で 1 時間単位に設定できます。通常就寝中の深夜時刻（1 時～3 時頃）を設定します。

照明点灯継続時間：

トイレに行くため照明を点灯させる場合等があるため、異常判定には継続して照明が点灯していることが条件になります。

1 時間～4 時間の間で 1 時間単位に設定できます。

照明点灯継続照度閾値：

小さい灯りを点けて就寝する場合、照明点灯異常が検出されないように検出照度閾値を設定できます。真っ暗で就寝する場合は 1 を設定し、灯りを点けて就寝する場合は 2 ～ 10 の間で閾値を設定します。

1（暗い）～10（明るい）の間で設定します。



温度センサによる見守り異常検出

設定温度以上の室温を検出した場合に異常検知メールを送信します。見守りセンサ選択で温度センサを有効にした場合に機能が有効になります。

検出温度閾値：

温度異常と判定する温度設定します。

25℃～40℃の間で 1℃単位に設定できます。

再アラーム発出保護時間：

温度は、ゆっくりと変化するため、検出温度閾値を超えて温度異常アラームを検知した後、風などの影響を受けて少し温度が下がり又すぐに検出温度閾値を超えて温度異常アラームを検出するようなことが起こります。この為、一度温度異常アラームを検出した後、次の温度異常アラームを検出するまでの時間を設定します。

1 時間～24 時間の間で 1 時間単位に設定できます。

見守り異常メール再送方法

見守り異常メール再送方法

見守り異常メール再送間隔：[10分] 見守り異常メール再送回数：[2回]

見守り異常メール解除条件

見守り/解除ボタン押下 見守り異常メール送信(再送含む)完了

見守り異常が検出された時に送信される見守り異常メールの再送間隔と再送回数を設定します。後述の見守り異常メール解除条件で設定される条件を満たした場合、メールの再送が停止します。再送を行わない場合は、再送回数に『再送無し』を設定します。

見守り異常メール再送間隔

5分 / 10分 / 30秒 / 1時間 / 4時間 / 8時間 / 12時間 / 24時間から設定できます。

見守り異常メール再送回数

再送無し / 1回 / 2回 / 3回 / 4回 / 5回 / 6回 / 7回 / 8回 / 制限無し から設定できます。

『再送無し』を選択するとメールの再送をしません。『制限無し』設定すると連絡メール解除条件で設定された解除（連絡メール再送完了を除く）までメールの再送を続けます。

見守り異常メール解除条件

連絡ボタンが押された連絡ボタン押下アラーム状態を解除する条件を設定します。

見守り/解除ボタン押下

チェックを入れることで、見守り/解除ボタンを押した場合連絡ボタン押下アラーム状態を解除します。

連絡メール送信（再送含む）完了

チェックを入れることで、再送を含む連絡メールの送信完了をもって連絡ボタン押下アラーム状態を解除します。

センサ反応時のLED点滅状態

センサ反応時のLED点滅状態

焦電センサ反応時のLEDを点滅する ドアセンサ反応時のLEDを点滅する

焦電センサとドアセンサ反応時のLED点滅状態を設定できます。センサ反応時のLED点滅が気になる場合は点滅を解除して下さい。

焦電センサ反応時のLEDを点滅する

チェックを入れることで焦電センサ反応時、LEDが点滅します。

ドアセンサ反応時のLEDを点滅する

チェックを入れることでドアセンサ反応時、LEDが点滅します。

ブザー音設定

設定を変更した場合は必ず **ブザー音設定** ボタンをクリックして下さい。

ブザー音設定	
異常警報の音	
連絡ボタン押下時のブザー音量：[大]	ブザーテスト
焦電センサによる見守り異常判定時のブザー音量：[大]	ブザーテスト
ドアセンサによる見守り異常判定時のブザー音量：[大]	ブザーテスト
照度センサによる見守り異常判定時のブザー音量：[小]	ブザーテスト
温度センサによる見守り異常判定時のブザー音量：[中]	ブザーテスト
外出/帰宅時の音	
外出時の音	
音量：[大] 継続時間：[1]秒	ブザーテスト
帰宅時の音	
音量：[大] 継続時間：[1]秒	ブザーテスト

異常警報の音

連絡ボタン押下時のブザー音量：

連絡ボタン押下時、保護時間を過ぎて、連絡ボタン押下アラーム状態になったときのブザー音を設定します。大/中/小/無から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

焦電センサによる見守り異常判定時のブザー音量：

焦電センサによる見守り異常を検出した場合のブザー音を設定します。大/中/小/無から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

ドアセンサによる見守り異常判定時のブザー音量：

ドアセンサによる見守り異常を検出した場合のブザー音を設定します。大／中／小／無から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

照度センサによる見守り異常判定時のブザー音量：

照度センサによる見守り異常を検出した場合のブザー音を設定します。大／中／小／無から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

温度センサによる見守り異常判定時のブザー音量：

温度センサによる見守り異常を検出した場合のブザー音を設定します。大／中／小／無から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

帰宅時の音

外出時の音：

オプションのドアセンサを用いて見守りモードと外出モードを自動的に切り替えた場合、外出時のブザー音を設定します。大／中／小／無から設定できます。ブザー音の継続時間は1秒/2秒/5秒/10秒/20秒/30秒から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

帰宅時の音：

オプションのドアセンサを用いて見守りモードと外出モードを自動的に切り替えた場合、帰宅時のブザー音を設定します。大／中／小／無から設定できます。ブザー音の継続時間は1秒/2秒/5秒/10秒/20秒/30秒から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

ネットワーク

センサモジュールが接続されるネットワーク環境の設定を行います。

ネットワーク接続の優先順位

センサモジュールが使用するネットワークは優先順位があります。ネットワークに接続する場合はご注意ください。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (第1優先)無線 LAN (SSID/KEY) 設定での接続 | (・SSID/KEY が設定されている場合。) |
| (第2優先)無線 LAN (WPS) 起動での接続 | (・WPS が有効
・SSID/KEY が設定されていない。) |
| (第3優先)有線 LAN (DHCP) 起動 | (・有線 LAN ケーブルが接続されている。
・有線 LAN DHCP が有効。
・WPS ボタン(見守り/解除ボタン)が押されていない。) |
| (第4優先)有線 LAN (スタティック IP) 起動 | (・SSID/KEY が設定されていない。
・有線 LAN ケーブルが接続されている。
・DHCP が無効もしくは DHCP 接続エラー
・WPS ボタン (見守り/解除ボタン) が押されている) |
| (第5優先)モデム接続 | (・SSID/KEY が設定されていない。
・有線 LAN ケーブルが接続されていない。
・『モデムを用いてネットワークに接続する』が有効になっている
・WPS ボタン(見守り/解除ボタン)が押されていない) |

LAN 設定

設定を変更した場合は必ず **LAN 設定** ボタンをクリックして下さい。

LAN 設定	
センサモジュールのネットワークアドレスを設定します。	
<input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバを利用する	
LAN MACアドレス:	3C:33:00:A0:04:7A
センサモジュールIPアドレス:	192 : 168 : 1 : 119
センサモジュールサブネットマスク:	255 : 255 : 255 : 0
センサモジュールデフォルトゲートウェイ:	192 : 168 : 1 : 1
センサモジュールDNSサーバアドレス:	192 : 168 : 1 : 1
LAN設定	

有線 LAN を用いてセンサモジュールをネットワークに接続する場合の設定を行います

DHCP サーバを利用する

チェックを入れることで DHCP サーバによる IP アドレスの自動取得を行います。特に問題がなければ DHCP サーバによる IP アドレスの取得を推奨します。

LAN MAC アドレス:

センサモジュールの有線 LAN MAC アドレスが表示されます。

センサモジュール IP アドレス:

DHCP サーバを利用せずにスタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合に、IP アドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

センサモジュールサブネットマスク:

DHCP サーバを利用せずにスタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合に、サブネットマスク値を設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

センサモジュールデフォルトゲートウェイ:

DHCP サーバを利用せずにスタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合に、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

センサモジュール DNS アドレス:

DHCP サーバを利用せずにスタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合に、DNS アドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

WiFi 設定

設定を変更した場合は必ず **WiFi 設定** ボタンをクリックして下さい。

Wifi設定	
センサモジュールのWiFi接続設定を行います。	
<input checked="" type="checkbox"/> WPSを使用してSSID/Keyを取得する。	
接続先ルータ SSID:	SetYourRouterSSID
接続先ルータ Key:	SetYourRouterKey
<input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバを利用する	
WiFi MACアドレス:	3C:33:00:A0:04:7B
WiFi IPアドレス:	192 : 168 : 10 : 204
WiFi サブネットマスク:	255 : 255 : 255 : 0
WiFi デフォルトゲートウェイ:	192 : 168 : 10 : 1
WiFi DNSサーバアドレス:	192 : 168 : 10 : 1
WiFi設定	

無線 LAN を用いてセンサモジュールをネットワークに接続する場合の設定を行います

WPS を利用して SSID/Key を取得する。

チェックを入れることで WPS による SSID/Key の取得を行います。

接続先ルータ SSID:

WPS を使用しない場合、接続先ルータの SSID を入力します。無線 LAN 接続を行わない場合は、空白にします。

接続先ルータ Key:

WPS を使用しない場合、接続先ルータの Key を入力します。無線 LAN 接続を行わない場合は、空白にします。

☑DHCP サーバを利用する

チェックを入れることで DHCP サーバによる IP アドレスの自動取得を行います。特に問題がなければ DHCP サーバによる IP アドレスの取得を推奨します。

Wifi MAC アドレス：

センサモジュールの無線 LAN MAC アドレスが表示されます。

Wifi IP アドレス：

DHCP サーバを利用せず、スタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合の IP アドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます

Wifi サブネットマスク：

DHCP サーバを利用せず、スタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合のサブネットマスク値を設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

Wifi デフォルトゲートウェイ：

DHCP サーバを利用せず、スタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合のデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

Wifi DNS アドレス：

DHCP サーバを利用せず、スタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合の DNS アドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

モデム設定

設定を変更した場合は必ず **モデム設定** ボタンをクリックして下さい。

モデム設定	
<input type="checkbox"/> モデムを用いてネットワークに接続する。	
アナログ電話種別:	自動設定 ▾
モデム接続時のユーザアカウント:	solo
モデム接続時のパスワード:	solo
モデム接続先の電話番号:	0088-33-5010
DNSの自動取得:	<input checked="" type="checkbox"/> DNSの自動取得をする
モデム接続時の1stDNSサーバアドレス:	0 : 0 : 0 : 0
モデム接続時の2ndDNSサーバアドレス:	0 : 0 : 0 : 0
モデム接続失敗時のリトライ回数:	2 ▾
システム起動時のモデム接続保護時間	30秒 ▾
<input type="button" value="モデム設定"/>	

☐モデムを用いてネットワークに接続する。

チェックを入れることでアナログ電話回線によるモデムを用いたネットワーク接続を行います。

アナログ電話種別：

アナログ電話回線の種別（トーンパルス）を指定します。不明な場合は自動設定を選択して下さい。

モデム接続時のユーザアカウント：

ダイヤルアッププロバイダのログインユーザアカウントを指定します。無料のダイヤルアッププロバイダ『soloot』を使用する場合は、“solo” を入力して下さい。

モデム接続時のパスワード：

ダイヤルアッププロバイダのログインユーザパスワードを指定します。無料のダイヤルアッププロバイダ『soloot』を使用する場合は、“solo” を入力して下さい。

モデム接続時の電話番号：

ダイヤルアッププロバイダの接続電話番号を指定します。無料のダイヤルアッププロバイダ『soloot』を使用する場合は、“0088-33-5010” を入力して下さい。

☑DNSの自動取得

チェックを入れることで DNS アドレスの自動取得を行います。自動取得を行わない場合は、次項の DNS サーバアドレスを指定する必要があります。

モデム接続時の 1st DNS サーバアドレス :

モデム接続時の 2nd DNS サーバアドレス :

DNS サーバアドレスを指定します。DNS の自動取得を行う場合は、入力不要です。

モデム接続失敗時のリトライ回数 :

モデムによるネットワーク接続はダイヤルアッププロバイダの込み具合等の要因で接続に失敗することがあります。接続に失敗した場合のリトライ最大回数を指定します。

1 回～10 回の間で指定可能です。

モデム起動時のモデム接続保護時間 :

センサモジュール起動時、無線 LAN / 有線 LAN 接続がないことが確認されてからモデムでの接続処理を行います。この無線 LAN / 有線 LAN 接続確認をする時間を指定します。モデム接続保護時間を大きくすると、起動時間が長くなります。一方、モデム接続保護時間を短くすると、WiFi での WPS 接続時、ルータの WPS ボタンを押してから見守り/解除ボタンを押すまでの猶予時間が短くなります。

10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 50 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 から設定できます。

※モデムを使用する際は弊社指定のモデムを使用下さい。弊社指定以外のモデムでの動作保障はいたしません。

※モデム使用時のダイヤルアッププロバイダはお客様でご契約願います。無料のダイヤルアッププロバイダ『soloot』を使用した場合の接続不具合に関しては弊社では保障致しかねます。

メール設定

メールを送信する際のメールアドレス、SMTP サーバ情報の設定を行います。

※ドアシルクラウドオプションの場合、本設定は不要です。

SMTP 設定

設定を変更した場合は必ず **SMTP 設定** ボタンをクリックして下さい。

アカウント名、パスワード、送信者アドレスの入力を行います。(グレーの項目は変更不要です。又、『アカウント名にドメイン名を含める』のチェックを外して下さい)

SMTP 情報設定

Gmail 設定 ボタン

Gmail を用いる場合、このボタンをクリックして下さい。Gmail 用設定を行います。

SMTP設定	
SMTP情報設定	
<input type="button" value="Gmail設定"/> <input type="button" value="Hotmail(Outlook)設定"/>	
サーバ情報	
SMTPサーバ名:	smtp.gmail.com
SMTPポート番号:	587
ユーザ情報	
ドメイン名:	gmail.com
アカウント名:	sensormodule @ (ドメイン名)
パスワード:	aito_1234
送信者アドレス:	sensormodule @ gmail.com
<input type="checkbox"/> アカウント名にドメイン名を含める	
<input type="button" value="SMTP設定"/>	

Hotmail(Outlook)設定 ボタン

Hotmail (現 Outlook メール) を用いる場合、このボタンをクリックして下さい。Hotmail (現 Outlook メール) 用の設定を行います。

SMTP設定	
SMTP情報設定	
<input type="button" value="Gmail設定"/> <input type="button" value="Hotmail(Outlook)設定"/>	
サーバ情報	
SMTPサーバ名:	smtp-mail.outlook.com
SMTPポート番号:	587
ユーザ情報	
ドメイン名:	hotmail.com
アカウント名:	sensormodule @ (ドメイン名)
パスワード:	aito_1234
送信者アドレス:	sensormodule @ hotmail.com
<input checked="" type="checkbox"/> アカウント名にドメイン名を含める	
<input type="button" value="SMTP設定"/>	

アカウント名、パスワード、送信者アドレスの入力を行います。（グレーの項目は変更不要です。又、『アカウント名にドメイン名を含める』のチェックを入れて下さい）

サーバ情報

SMTP サーバ名：

メール送信に使用する SMTP サーバ名を指定します。ご契約のプロバイダ設定で指定されたサーバ名を入力して下さい。

SMTP ポート番号：

メール送信に使用する SMTP ポート番号を指定します。ご契約のプロバイダ設定で指定されたポート番号を入力して下さい。一般的には 25 , 465 , 587 等が使用されます。

ユーザ情報

ドメイン名：

メール送信に使用するドメイン名（メールアドレスの @以下の部分）を指定します。ご契約のプロバイダ設定で指定されたドメイン名を入力して下さい。

アカウント名：

メール送信でのユーザアカウントを指定します。ご契約のプロバイダ設定で指定されたユーザアカウントを入力して下さい。

パスワード：

メール送信でのユーザアカウントに対するパスワードを指定します。

送信者アドレス：

メール送信時の受信者に通知されるメールアドレスを指定します。アカウント名と異なるアドレスを使用することができますが、プロバイダや受信者のメールツールによっては、スパム扱いとなり受信相手に到達しない場合があります。

アカウント名にドメイン名を含める。

プロバイダによってはアカウント名にドメイン名を含んだ状態でアカウント名と見なす場合があります（Hotmail 等）。このような場合はチェックを入れてアカウント名にドメイン名を含んだ状態にして下さい。

テスト送信

テスト送信 ボタンをクリックすることでテストメールの送信を行います。

テストメール送信先アドレス設定

◎送信メールアドレスを指定する

下記の送信先アドレスで指定したアドレスにテストメールを送信します。

○送信メールアドレス通知設定に従う

送信メールアドレス通知設定で指定されたメールアドレス全てに対してテストメールを送信します。

送信先アドレス：

テストメールの送信先メールアドレスを指定します。

送信メールアドレス

設定を変更した場合は必ず、

送信メールアドレス設定 ボタンをクリックして下さい。

送信メールアドレス					
送信メールアドレス通知設定					
No	メールアドレス	緊急通知	見守異常	状況通知	状況通知送信時刻
1	<input type="text" value="Mail_Address@domain.com"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	14 ↓ 時 0 ↓ 分
2	<input type="text" value="Mail_Address@domain.com"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 ↓ 時 0 ↓ 分
3	<input type="text" value="Mail_Address@domain.com"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 ↓ 時 0 ↓ 分
4	<input type="text" value="Mail_Address@domain.com"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 ↓ 時 0 ↓ 分
5	<input type="text" value="Mail_Address@domain.com"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 ↓ 時 0 ↓ 分
6	<input type="text" value="Mail_Address@domain.com"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 ↓ 時 0 ↓ 分
7	<input type="text" value="Mail_Address@domain.com"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 ↓ 時 0 ↓ 分
8	<input type="text" value="Mail_Address@domain.com"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 ↓ 時 0 ↓ 分

送信メールに対する 連絡ボタン通知 / 見守り異常通知 / 定時状況通知 / 定時状況通知送信時刻の設定を行います。メール送信先は最大 8 アドレスまで登録できます。

メールアドレス：

連絡ボタン通知 / 見守り異常通知 / 定時状況通知メールの送信先メールアドレスを指定します。

連絡通知：

連絡ボタンが押されたときに送信される連絡通知メールを送信するか否かを指定します。

見守り異常：

見守り異常（焦電センサによる見守り異常 / ドアセンサによる見守り異常 / 照明センサ異常 / 温度異常）を検知した場合に送信される見守り異常検出メールを送信するか否かを指定します。

状況通知：

見守り異常状態 / 1 日前のセンサ統計情報を 1 日に一回、状況通知メールとして送信します。状況通知メールを送信するか否かを指定します。

状況通知送信時刻：

状況通知メールの送信時刻を設定します。
00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

同一メールアドレスに複数の送信時刻を指定したい場合は、メールアドレスの項目に同一アドレスを指定して異なる送信時刻を設定して下さい。

メール送信に替わる電話呼び出し

設定を変更した場合は必ず、

呼び出し番号設定 ボタンをクリックして下さい。

センサモジュールからの連絡を、電子メールを使用せずに、電話の呼び出しによって通知を行うことが可能です。呼び出し側の電話設定を番号通知にすることで、センサモジュールからの通知と判断し、呼び出し電話にでなければ、通知のための電話料金がまったく不要となります

※呼び出した電話に対して音声は流れません（無言電話になります）。

メール送信に替わる電話呼び出し

テスト呼び出し

設定された電話番号を呼び出します（音声は流れません）。

呼び出し電話番号を指定する 呼び出し電話番号設定に従う

電話番号:

テスト呼び出し

テスト呼び出し ボタンをクリックすることで電話でのテスト呼び出しを行います。

テスト電話番号設定

呼び出し電話番号を指定する

下記の電話番号で指定した番号に発呼します。

呼び出し電話番号設定に従う

呼び出し電話番号設定で指定された電話番号全てに対して発呼します。

呼出し電話番号設定

電話番号に対する 連絡ボタン通知 / 見守り異常通知 / 定時状況通知 / 定時状況通知送信時刻の設定を行います。呼び出し電話番号は最大 8 番号まで登録できます。

呼び出し電話番号設定

呼び出し時間：5 秒(接続先電話種別、接続回線等通信環境によって若干の変動があります)

No	電話番号	連絡通知	見守り異常	状況通知	状況通知送信時刻		
1	111-111-1111	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	毎日	12時	0分
2	222-222-2222	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日曜日	12時	0分
3	000-000-0000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日曜日	12時	0分
4	000-000-0000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日曜日	12時	0分
5	000-000-0000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日曜日	12時	0分
6	000-000-0000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日曜日	12時	0分
7	000-000-0000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日曜日	12時	0分
8	000-000-0000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日曜日	12時	0分

呼び出し電話設定

呼び出し時間：

電話呼び出しする時間を指定します。電話回線種別（パルストーン）、接続先電話種別（固定電話/携帯電話）など通信環境により変動します。大きい目の値を指定するようにして下さい。

電話番号：

連絡ボタン通知 / 見守り異常通知 / 定時状況通知電話呼び出しの電話番号を指定します。

連絡通知：

連絡ボタンが押されたときに送信される連絡通知電話呼び出しを発呼するか否かを指定します。

見守り異常：

見守り異常（焦電センサによる見守り異常 / ドアセンサによる見守り異常 / 照明センサ異常 / 温度異常）を検知した場合に送信される見守り異常検出電話呼び出しを発呼するか否かを指定します。

状況通知：

センサモジュールが正常動作していることを確認するための状況通知電話呼び出しを発呼するか否かを指定します。

状況通知送信時刻：

状況通知メールの送信時刻を設定します。
日曜日～土曜日（+毎日）の00時00分～23時50分まで10分単位で指定可能です。
同一メールアドレスに複数の送信時刻を指定したい場合は、メールアドレスの項目に同一アドレスを指定して異なる送信時刻を設定して下さい。

装置管理

センサモジュール本体の装置管理を行います。

管理者パスワード

設定を変更した場合は必ず **変更** ボタンをクリックして下さい。

管理者パスワード

ログインパスワードを変更します。変更前パスワードと新しいパスワードを入力して下さい。

ユーザID : user

変更前パスワード:

変更後パスワード:

変更後パスワード: (再入力)

変更

ユーザID：

WebUIでの管理用ログインユーザIDを指定します。
ユーザIDは『user』固定です。

変更前パスワード：

WebUIでの管理用ログインユーザIDに対する変更前のパスワードを指定します。初期パスワードは『passwd』です。

変更後パスワード：

変更後パスワード（再入力）：

WebUIでの管理用ログインユーザIDに対する変更後のパスワードを指定します。

装置管理者メールアドレス登録

設定を変更した場合は必ず **メールアドレス登録** ボタンをクリックして下さい。

装置管理者メールアドレス登録

装置管理者のメールアドレスを登録します。装置起動時に起動情報が通知されます。

装置管理者メールアドレス:

装置管理者メールアドレス：

装置管理者のメールアドレスを指定します。装置管理者には、センサモジュール起動時に装置 IP アドレスを通知する起動通知メールを送信します。

停電による再起動や故障等を検出、IP アドレスの認識のためにも、装置管理者メールアドレスは必ず指定して下さい。

時刻設定

設定を変更した場合は必ず **設定** ボタンをクリックして下さい。

時刻設定

手動による設定

現在時刻をセットし設定ボタンをクリックしてください。

20 年 月 日 時 分 秒

NTPによる自動設定

NTPサーバによる自動設定を行う場合は以下の設定を行い設定ボタンをクリックしてください。ネットワークに接続された状態でNTPを有効にすると、手動による設定を上書き最新時刻を保持します。

NTPサーバによる時刻取り込みを有効にする

NTPサーバアドレス:

(空白の場合デフォルトのNTPサーバを使用します。NTPサーバを指定する場合は入力して下さい。)

手動による設定

現在時刻をセット：

センサモジュールの時計を変更する場合に設定します。NTP を設定し、ネットワークに接続している場合、現在時刻と異なる時刻設定をしても、30 分程度で自動的に時刻合わせが実施され、現在時刻で上書きされます。

NTP による自動設定

NTP サーバによる時刻取り込みを有効にする

チェックを入れることで NTP サーバによる時刻合わせ機能が有効になります。ネットワークに接続されている場合、30 分程度で時刻合わせが実施されます。

NTP サーバアドレス：

NTP サーバアドレスを指定する場合に設定します。空白の場合、デフォルトの NTP サーバを使用します。

再起動

再起動

システムの再起動を行います。

再起動 ボタンをクリックすることでセンサモジュールを再起動します。

再起動後通常動作まで 1 分程度かかります。1 分以上たっても見守り LED 及び異常 LED が消灯しない場合は電源の OFF/ON を行って下さい。

初期化

初期化

工場出荷時の状態に戻します。全ての設定が初期化されます。

センサモジュールは工場出荷時にあらかじめお客様の接続方法をお聞きし、ネットワーク情報やメール情報を設定します。

初期化 ボタンをクリックすることでセンサモジュールを工場出荷状態に初期化します。

困ったときは

センサモジュールが起動しない

電源ランプ（緑）が点灯しない

センサモジュールを電源に接続すると電源ランプ（緑）が点灯します。電源ランプ（緑）が点灯しない場合はセンサモジュールが故障している可能性があります。サポートに連絡をお願いします。

見守りランプ（黄色）が点灯/点滅しない

電源に接続すると、1分程度で見守りランプ（黄色）が点灯もしくは点滅します。見守りランプ（黄色）が消灯している場合は外出モードになっている場合があります。見守り/解除ボタン（青色）を1回押して見守りモードにして下さい。



見守り/解除ボタン（青色）を押しても見守りランプ（黄色）が消灯している場合はセンサモジュールが故障している可能性があります。サポートに連絡をお願いします。

見守りランプ（黄色）が点滅のままになる

見守りランプ（黄色）が低速点滅（0.5秒点灯、0.5秒消灯の繰り返し）の場合はネットワーク接続方法により以下の原因が考えられます。

●無線 LAN 接続の場合

WPS 接続待ちの状態です。ルータの WPS ボタンを押してからセンサモジュールの見守り/解除ボタン（青色）を押して下さい。

●有線 LAN 接続の場合

LAN ケーブルの接続を確認してセンサモジュールを再起動（電源 OFF/ON）して下さい。

●モデム接続の場合

電話回線を用いたネットワーク接続に失敗しています。

(1)電話ケーブルの接続を確認して下さい。

(2)プロバイダ設定が正しいか確認して下さい。

（有線 LAN もしくは無線 LAN で接続する必要があります。）

異常ランプ（橙色）が点滅のままになる

起動時に異常ランプ（橙色）が点滅状態になる場合は、センサモジュールが正常にネットワークに接続できていません。次項の『ネットワークに接続できない』を参照下さい。

ネットワークに接続できない

以下で説明する項目を確認下さい。

●無線 LAN 接続の場合

- ・設定シートに書かれている SSID と KEY の値がお使いの無線ルータの SSID/KEY と一致するか確認下さい。

- ・LAN ケーブル、USB モデムが接続されている場合はセンサモジュールから外して下さい。

- ・センサモジュールが無線 LAN ルータの接続範囲内であることを確認下さい。
 - ・無線 LAN ルータ、センサモジュールの電源 OFF し、無線 LAN ルータの起動後、センサモジュールの電源を入れ、『起動方法』に従ってネットワーク接続を試みて下さい。
 - ・無線 LAN ルータに有線 LAN 接続ポートがある場合は、LAN ケーブルでセンサモジュールと接続し、正常に起動するか確認下さい。
- 有線 LAN 接続の場合
- ・USB モデムが接続されている場合はセンサモジュールから外して下さい。
 - ・LAN ケーブルがセンサモジュールとルータ（SW ハブ）に正しく接続されていることを確認下さい。
 - ・センサモジュールの設定が無線 LAN 接続で SSID/KEY が設定されている場合、無線 LAN 接続になります。有線 LAN 接続する場合は、センサモジュールの無線 LAN 接続を OFF（SSID/KEY を空白に設定）するか、無線ルータの無線機能を OFF にして接続して下さい。センサモジュールの無線 LAN 接続を OFF にする方法は、『設定方法』ネットワーク（WiFi 設定）[\[34 ページ\]](#) を参照下さい。
- モデム接続の場合
- ・接続プロバイダの指定がある場合は設定シートにかかっている電話番号、ユーザアカウント、パスワードが正しいことを確認下さい。
 - ・お使いの電話回線種別（パルス方式もしくはトーン方式）が設定シートにかかっている回線種別と等しいか確認下さい。
- ・USB モデムがセンサモジュールに正しく接続されていることを確認下さい。又アナログ電話ケーブルが USB モデムに正しく接続されていることを確認下さい。
 - ・センサモジュールの設定が無線 LAN 接続で SSID/KEY が設定されている場合、無線 LAN 接続になります。モデム接続する場合は、センサモジュールの無線 LAN 接続を OFF（SSID/KEY を空白に設定）するか、無線ルータの無線機能を OFF にして接続して下さい。センサモジュールの無線 LAN 接続を OFF にする方法は、『設定方法』ネットワーク（WiFi 設定）[\[34 ページ\]](#) を参照下さい。
 - ・センサモジュールの設定がモデムを用いてネットワークに接続する設定になっていることを確認します（モデムを用いてネットワークに接続する設定を指定した場合工場集荷時に設定されています）。設定を変更した場合のみ確認願います。
 - 無線 LAN（WPS 接続）もしくは有線 LAN（DHCP）接続でセンサモジュールに接続します。
 - ネットワークに PC もしくはスマホを接続して WebUI 画面を開きます。
 - ネットワーク（WiFi 設定）の『モデムを用いてネットワークに接続する』にチェックが入っていることを確認します。

ネットワーク接続方法を変更したい

センサモジュールの WebUI 画面から変更可能です。モデム接続が設定されている場合は、モデム経由では変更できません。無線 LAN（WPS 接続）もしくは有線 LAN（DHCP）接続でセンサモジュールをネットワークに接続し、WebUI 画面から変更して下さい。

異常状態ランプ（橙）が点滅したら

異常状態ランプが点滅した場合は電源の OFF/ON を行い、再起動して下さい。それでも異常状態ランプが点滅する場合は、お買い求めの代理店、または弊社サポートに連絡下さい。

見守りランプの点滅が気になる

焦電センサ、ドアセンサが反応すると見守りランプが点滅します。寝室等に設置し見守りランプの点滅が気になる場合は WebUI から変更可能です。

『設定方法』システム設定（見守り設定）[\[32ページ\]](#) で以下のチェックボックスのチェックを外して下さい。

- 焦電センサ反応時の LED を点滅する
- ドアセンサ反応時の LED を点滅する

スマートフォンから設定したい

スマートフォンのデザリング機能を用いて無線ルータが無い環境でも、スマートフォンから直接センサモジュールの設定が可能です。

- (1)スマートフォンのデザリング機能の設定画面で以下のように設定します。
 - SSI : 初期登録時の SSI を入力します。
 - セキュリティ : WPA2 PSK を指定します。
 - パスワード : 初期登録時の SSI を入力します。
- (2)センサモジュールの電源を入れます。
- (3)管理者登録されたメールアドレスに IP アドレスが通知されます。
- (4)スマートフォンのブラウザから通知された IP アドレスにアクセスします。

本製品の不具合に起因する付随的損害

本システムは、ご利用者様の生活状況を見守ることを目的としたシステムであり、ご利用者の体調状況をリアルタイムにお知らせするものではありません。また、ご利用者の突発的な体調異常または事故等を、即座に外部へ自動で通報する緊急通報システムではありません。本システムは、状況通知の手段として、通信回線を使用したインターネットメールを利用しています。本システムに接続した通信回線の故障、状況通知を受信される端末（携帯電話など）の通信状況等により、状況通知メールが受信できない、または遅延する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

万一、本製品の使用および不具合の発生によって生じた付随的な損害につきましては、直接的・間接的に関わらず、弊社では補償いたしかねます。

補修用性能部品及び消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品及び消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 5 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

故障の状況によっては、弊社の判断により、製品本体を同一機種または同等仕様の機種と交換等させていただくことがあります。同等機種と交換した場合は、交換前の製品の付属品や消耗品をご使用いただけなくなる場合があります。

● **アイトシステムのホームページ <http://www.aitosys.com>**

各種製品情報、サポート案内等の情報を提供しております。

● **製品に関するご質問・ご相談**

製品に関するご質問・ご相談に電話お答えします。

【電話番号】0800-200-2790（通話料無料）

上記電話番号を利用できない場合や携帯電話等からは、0773-45-3166に連絡をお願いします。

※サポート受付時間：祝日を除く平日(月曜～金曜)9時から17時まで

製品に関するご質問・ご相談にメールでお答えします。

【サポート専用メールアドレス】 support@aitosys.com

ご質問・ご相談の際は購入品の製品型名及び製造番号をお知らせください。製品型名及び製造番号は製品裏面のシールに記載されています。



● **修理品送付・持ち込み依頼先**

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記サポート窓口まで送付をお願いします。

アイトシステムサポート窓口：

〒620-0055

京都府福知山市篠尾新町 4-1-1 アミックビル 3F

本ページの記載の情報は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承下さい。

最新の情報はアイトシステムのホームページ (<http://www.aitosys.com>) にてご確認ください。

株式会社アイトシステム 〒620-0055 京都府福知山市篠尾新町 4-1-1 アミックビル 3F